

生涯学び続ける「きっかけ作り」

4月27日 生涯学習きっかけ作り塾合同開講式

生涯学び続ける「きっかけ作りの場」、平成31年度生涯学習きっかけ作り塾合同開講式をアクシスかつらぎで開催しました。
今年度の受講生は、200人以上。受講生は、これから1年間を通して講座を受講することで学び、その成果を来年3月に実施する合同発表会でお披露目します。

開講式の様子▶



新たな時代がスタート

5月1日 「令和」の時代が始まりました

「平成」が終わり、「令和」がはじまりました。
令和元年初日、荳山反射炉では看板「ようこそ令和」が設置され、来場者を迎えました。この日は「荳山反射炉花回廊2019」が開催中。ゴールデンウィーク、新元号初日、イベントの3つが重なり、荳山反射炉にはたくさんの来場者が訪れていました。
皆さんは、新時代をどのように迎えましたか。

◀設置された看板「ようこそ令和」

出陣！伊豆の国市手作り甲冑隊

5月3日 小田原北條五代祭りに伊豆の国市手作り甲冑隊が参加

小田原市最大の祭り「第55回小田原北條五代祭り」に、伊豆の国市手作り甲冑隊が参加しました。
同甲冑隊は、劇団いす夢、市職員など28人で構成された「五代北条氏直隊」の「荳山城主北条氏規隊」としてパレードに参加。約2.7kmにわたるコースを、たくさんの観衆に見守られながら1時間ほどかけて練り歩きました。

盛り上げながらパレードに参加する「隊員」▶



市内の交差点で交通安全を啓発

5月10日 早朝一斉街頭広報を実施

市内10カ所の交差点で、「春の全国交通安全運動」にあわせて早朝一斉街頭広報を実施しました。
今回は、市職員・地域団体あわせて483人が、交通安全と書かれたタスキや旗などを掲げ、朝7時から各交差点で街頭広報を実施。通勤・通学中の人たちに向けてあいさつをしながら、交通安全の啓発を行いました。

◀通学中の小学生もサポート

海外で活躍した市内在住者が帰国

3月28日 市内在住のJICAボランティア2人が帰国を報告

国際協力機構のJICAボランティア（青年海外協力隊）としてエジプトとヨルダンに派遣されていた関野真理さんと山口浪漫さんが、小野市長に帰国を報告しました。2人は、現地に1年9カ月滞在し、関野さんは現地の小学校での体育の授業と日本式の教育を取り入れる支援を、山口さんは幼稚園での幼児教育活動支援を、それぞれ行いました。

帰国報告を笑顔で（左：関野さん、右：山口さん）▶



長年の活動の功績が認められる

4月2日「伊伝財団文化財保護振興奨励賞受賞」を報告

文化伝承や文化財保護などに寄与したことが認められ、伊豆の国歴史ガイドの会が「伊伝財団文化財保護振興奨励賞」を受賞。小野市長に報告しました。
同会は、平成13年から荳山反射炉などで活動を開始し、今年2月末までに、88万人以上の人へのガイドを達成。迫田信行会長は、「今年度中に100万人を達成する」と、意気込みを語っていました。

◀今後の意気込みを語る迫田会長

伊豆の国音頭を踊ろう！

4月4日 市役所新規採用職員が伊豆の国音頭に挑戦

毎年恒例「市役所新規採用職員が伊豆の国音頭を踊る」企画を、今年も市役所新規採用職員17人が実施しました。今回は、来年に控える東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運向上を目的として、伊豆の国音頭とあわせて東京五輪音頭も実施。新規採用職員は、不慣れな動きに戸惑いながらも、皆笑顔で音頭を踊っていました。

笑顔で伊豆の国音頭を踊る▶



豊かな水の恵みに感謝する

4月24日 水神祭が開催

水の安定供給・水道工事の安全祈願を目的に、水神祭が、市上下水道協同組合などの関係者出席のもと、下畑水源と宗光寺水神地で開催されました。
関係者らによる玉串拝礼などの後、市上下水道協同組合の飯田俊治理事長によるあいさつが行われ、「今後も、行政と協力しながら安心・安全な水を供給できるように頑張りたい」と話しました。

◀宗光寺水神地での玉串拝礼